


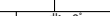

調 査 名

ボーリングNO.							
----------	--	--	--	--	--	--	--

## 事業・工事名

シートNO.

シートNO.

ボーリング名	H18No.1 (堤頂)		調査位置								北緯	36° 19' 01.0000"			
発注機関	足利土木事務所 河川砂防部				調査期間		2006-12-16 ~ 2007-03-09						東経	139° 32' 33.0000"	
調査業者名			主任技師				現代人	場	コ		ア	ボーリング責任者			
							鑑	定	者						
孔口標高	99.59 m	角		方		地盤勾配		使用機種	試錐機			ハンマー落下用具			
総掘進長	24.45 m	度	下	方向			鉛直	水平	エンジン			ポンプ			

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取			室内試験	掘進月日	
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	深度	試験名および結果	深度	試験番号			採取方法
													0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)		(m)									
1					砂漠リシルト・表土 (M-S/SF) シルト質礫・盛土互層 (GM)	楊		中ぐらい	表土。 0.5cmの円礫混じりの砂質シルト。 0.1～0.7m: 細粒砂混じりのシルト。 1cm以下の礫を稀に含む。 [0.70]0.7～2.2m: 1～3cm程度の砕石と砂混じりシルトからなる。 最大礫径3cm。砂少ない。			1.15					1.15	1-1	○				
2					シルト質砂 (SM)	楊		非常に硬い	シルトを多く含む細～中粒砂。含水中位。礫は2.6、2.8mに1～2cmの垂円令が混じる程度。		01/20 2.90 0.55 3.20 三	1.45	4	3	6	13/30	13						
3					有機質シルト (MO)	暗楊		黒	やや有機質なシルト。0.5～1cm程度の円礫が少量混じる。含水高い。			2.15				3/30	3						
4					砂漠リシルト (M-S)	淡楊		明楊	細粒砂が少量混じるシルト。含水少～中程度。バサバサしている。			2.45	1	1	1	3/30	2						
5					シルト (M)	淡楊		明楊	淡～明褐色のシルト。含水中位。3.75～6.2mは一道と考えられ。4.9m付近の境界はやや漸移的。 [5.60]5.6m付近に中粒砂をレンズ状に挟む。 [5.80]5.8mに深に0.3～0.5cm程度の円礫が少量混じる。			3.15	1	1	2	2/35	2						
6					シルト混り砂礫 (GS-M)	楊		中ぐらい	シルトが混じる砂礫。砂は中～粗粒砂主体。礫は0.5～1cmの垂角礫を主体とし、最大礫径2cm程度。全体にシルト混りて、7.5mまでは特に多い。 [6.80]6.8、7.0m付近: 幅10cm程度マンガンを含み、黒色を呈す。			4.15	1	1	2	2/30	2						
7					シルト混り砂礫 (GS-M)	楊		中ぐらい	シルトが混じる砂礫。砂は中～粗粒砂主体。礫は0.5～1cmの垂角礫を主体とし、最大礫径2cm程度。全体にシルト混り。全体に赤みを帯びる。			4.45	1	1	2	2/30	2						
8					シルト混り砂礫 (GS-M)	楊		中ぐらい	シルトが混じる砂礫。砂は中～粗粒砂主体。礫は0.5～1cmの垂角礫を主体とし、最大礫径2cm程度。全体にシルト混り。全体に赤みを帯びる。			5.15	1	1	2	2/30	2						
9					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		密な	シルトが混じる砂礫。砂は中～粗粒砂主体。礫は0.5～1cmの垂角礫を主体とし、最大礫径2cm程度。全体にシルト混り。全体に赤みを帯びる。			5.45	1	1	2	2/30	2						
10					礫混りシルト (M-G)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			6.15	4	9	10	23/30	23						
11					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		密な	シルトが混じる砂礫。砂は中～粗粒砂主体。礫は0.5～1cmの垂角礫を主体とし、最大礫径2cm程度。全体にシルト混り。全体に赤みを帯びる。			6.45	8	7	9	24/30	24						
12					礫混りシルト (M-G)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			7.15	8	7	9	24/30	24						
13					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			7.45	9	10	10	29/30	29						
14					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			8.15	10	11	10	30/30	30						
15					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			9.15	10	11	10	30/30	30						
16					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			9.45	10	11	10	30/30	30						
17					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			10.15	19	21	10	50/28	>50						
18					礫混りシルト (M-G)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			10.43											
19					礫混りシルト (M-G)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			11.15	6	5	1	12/30	12						
20					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			11.45											
21					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			12.15	9	10	12	30/30	30						
22					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			12.45											
23					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			13.45	3	5	3	11/30	11						
24					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			13.75	10	12	14	36/30	36						
25					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			14.15											
26					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			14.45											
27					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			15.15	11	15	21	47/30	47						
28					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			15.45											
29					シルト混り砂礫 (GS-M)	明楊		軟らかい	1cm程度の角礫が混じるシルト。含水高く、軟らかい。 砂は中粒～粗粒砂主体。礫は0.5～1cm程度の垂角礫を主体とし、最大礫径3cm程度。 6.2～11.3mのシルト混じり砂礫層よりも砂分が密である。 11.6、13.6～13.8m付近: 礫が少ない。 15.7～15.9m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.5～16.8m: シルト分が多く、シルト質砂礫に近い。 16.7～16.8m: 基質が火山灰質砂からなる。			16.15	7	13	16	36/30	36						

